

音モダチ・プロジェクト 被災地応援活動

2017/4/28-30

今回は三日間、福島に伺います。

富岡町は四月から避難指示解除になったところですが、まだまだ戻らず（戻れず）に仮設住まいや復興住宅に住まわれている方がいらっします。そのような皆様のところへ音楽をお届けに参ります。

一日目は三春町にある富岡町の皆さんの富岡サポートセンター平沢に伺いました。

こちらは今年の一月にオープンし、富岡町の方と三春町の方が集える場所にしたいということで建てられたところです。

復興住宅敷地内にあり90戸ほどあるうち80軒は入居されているということでした。

富岡町に戻られている方はまだ全町民の1%だと伺いました。それでも少しずつ生活ができるように街を再建しているそうです。

復興住宅は昨年11月くらいから入居され始めたそうで、ここに住み始めた方々は富岡の自宅には戻らないことを決めたということだそうです。二階建て、平屋があり一軒一軒になっています。

二本松から5年前に詩を寄せて下さった草野とみ子さんと瑞季さんがいらして下さいました。懐メロやおなじみの曲もお聞きいただき、町民歌の「富岡わがまち」を皆さんで歌いました。最後は「幸福になるための歌」です。幸せになろう！と皆さんで歌いました。心に染みる歌をありがとうございましたとお声をいただきました。



富岡サポートセンターへいらした皆さん

二日目は郡山市内にある富岡町の皆さんの緑ヶ丘仮設住宅の集会所にて演奏させていただきました。こちらへは6回目の訪問となりました。

おなじみのお顔にもたくさんお目にかかれました。

こちらの仮設にお住まいの方は3分の1ほどになったそうです。

前日も歌った「富岡わがまち」はこちらで教えていただいたものです。

2番の歌詞に「新しい科学の技にふるさとの未来を開く」というところがあります。

様々な場面で歌うときにこの2番は削られることが多いとのこと。しかし緑ヶ丘仮設の皆さんはいつも歌うようにしているそうです。

こちらの仮設は一応来年の3月までということになっているそうです。

富岡町の様々な事情もお話を伺いました。こちらにいらっしやる方はご自宅を修復して戻る予定という方がほとんどでした。

しかし町に戻る方々はほとんどが年配の方だそうです。

ずっと続けてボランティア活動をしている人はあまりいない、私たちも頑張らなきゃとお言葉をいただきました。



緑ヶ丘仮設の皆さん

最終日は第2回目の川内村かえるマラソンに参加しました。

村にたくさんの方が来てもらいたい、という小学生の男の子の発案によるこのマラソン。去年も参加しましたが、村民人口より多い1600人も人が出場していました。

「おかえりなさい！また笑顔に会いたくて」と沿道に書いてありました。本当にそんな気持ちになりました。

かえるの声や鳥のさえずりを聞き、村の皆さんの声援を受けながらのマラソンは、とても温かかったです。

また来年も来ることができたら嬉しいです。

東京へ戻る際に富岡町へ立ち寄りしました。今年の4月に一部避難指示解除となりました。

町にはたくさんの復興住宅が建設中でした。3/31にオープンした複合施設へも行ってみました。

そちらには人も結構いましたがその他の場所ではあまり見かけることはありませんでした。



オープンしたばかりの
さくらモールとみおか

震災から6年。

実際に福島の方から貴重なお話も伺いました。

後手後手の状況、さまざまな内情もあるようですが、皆さんが心から笑顔で過ごせる日が来ることを願ってやみません。

<セットリスト>

サポートセンター平沢

緑色の道
高原列車は行く
懐メロメロ
春よ来い
夜露よ今夜もありがとう
山の人気者
カリンカ
最上川舟唄
ははえみの音にのせて
富岡わが町

富岡町緑ヶ丘仮設集会所

緑色の道
青葉城恋唄
懐メロメロ
胸の振り子
夜露よ今夜もありがとう
山の人気者
カリンカ
最上川舟唄
富岡わが町